

山口情報芸術センター[YCAM] 作品選出のお知らせ

## 第15回文化庁メディア芸術祭 審査委員会推薦作品に選出

2010年度YCAM委嘱作品/滞在制作

白井 剛+YCAM ビデオダンス制作プロジェクト「Choreography filmed: 5days of movement」

(コレオグラフィー・フィルムド: ファイブデイズ・オブ・ムーブメント)

YCAMとアーティストが共同で制作した映像作品と、作品制作のプロジェクトが、第15回文化庁メディア芸術祭にて、審査委員会推薦作品に選出されました。

このたび、山口情報芸術センター[YCAM]と振付家/ダンサーの白井剛しらいつよしが共同で制作した映像作品と、その制作のプロジェクトが、第15回文化庁メディア芸術祭アート部門審査委員会推薦作品に選出されました。

「文化庁メディア芸術祭」とは、メディア芸術の創造と発展を図ることを目的とし、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガなど、優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、これを鑑賞する機会を提供するもので、平成9年度(1997年)より毎年開催されています。

2011年12月15日(木)に、第15回文化庁メディア芸術祭の受賞/選出作品の公式発表がおこなわれ、YCAMにて2010年度に展開したプロジェクト「Choreography filmed: 5days of movement」(コレオグラフィー・フィルムド: ファイブデイズ・オブ・ムーブメント)の選出が決定いたしました。本プロジェクトと、映像作品は、特設のウェブサイト(<http://c-filmed.ycam.jp/>)にてご覧いただけます。



ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただきますよう、よろしくご願ひ申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター[YCAM] 広報担当: 廣田

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 e-mail: [information@ycam.jp](mailto:information@ycam.jp)

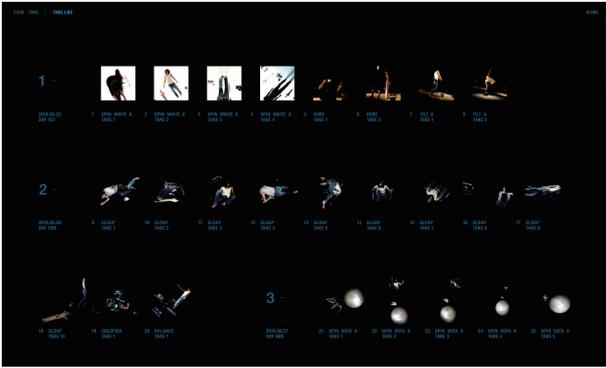
〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7 <http://www.ycam.jp/>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

## カメラが捉える身体。映像の中に立ち上がるダンス。

撮影・編集・上映・公開から、身体表現を構想する。

多様化する映像文化を見据え、新たなダンス言語を見出すプロジェクト



「Choreography filmed: 5 days of movement」特設ウェブサイト

制作者：

**白井剛 + YCAM**

プロジェクトタイトル：

**「Choreography filmed: 5 days of movement」**

映像作品タイトル：

**「質量, slide, & . in frames」**

### プロジェクト概要

本プロジェクトでは、振付家／ダンサーの白井剛の代表作であるダンス作品「質量, slide, & .」（2004年初演）を、YCAMとアーティストが共同で映像作品（ビデオダンス作品）へと再構成し、インターネットにおける多面的なアプローチを展開しました。

約半年間にわたるプロジェクトでは、5日間の撮影映像をインターネット上で中継するほか、完成した映像作品と、全撮影素材を特設ウェブサイトにて公開。2011年1月には、アーティストとゲストをむかえ、映像作品の発表上映会も開催しました。

プロジェクトにて制作した映像作品「質量, slide, & . in frames」は、白井のダンス作品と同様に、物と身体との関わりから見えてくる「質量」に注目し、物の移動や身体の動きを多角的に撮影し、不思議な浮遊感覚と力学のダイナミズムを表現しています。

また、特設のウェブサイトでは、現在の映像を取り巻く視聴環境／制作環境からもダンス表現のあり様を検証すべく、撮影と編集に至る作品制作のプロセスを記録／公開し、ダンスが生まれる瞬間をも創作する新しいパフォーマンスアーツの体験を提示しています。

### 制作プロジェクトのながれ

#### ■ 撮影 【インターネット中継】

白井剛のダンスを、YCAMにて5日間にわたって撮影し、その模様をインターネットにて中継。

2010年8月24日(火) -28日(土)

#### ■ 編集 ※アーティスト自身による編集／加工

#### ■ 上映会 ※新作映像作品の発表

完成したビデオダンス作品を上映し、ゲストを交えたトークイベントを開催。

2011年1月23日(日)

出演：白井剛(振付家／ダンサー)

ゲスト：北野圭介(映像理論・表象文化論)、

飯名尚人(演出家・映像作家・プロデューサー)

会場：山口情報芸術センター[YCAM] スタジオC

#### ■ 公開 ※作品と撮影した全素材を公開

特設webサイトにて、完成したビデオダンス作品全編と、撮影映像すべてを公開。

<http://c-filmed.ycam.jp/>

photo: 白井 亮

### 白井 剛 | しらいつよし

振付家・ダンサー

1996-2000年ダンスカンパニー「伊藤キム+輝く未来」の作品に出演。1998年「Study of Live works 発条ト」の設立に参加し、パニョレ国際振付賞受賞。2004年「質量, slide, & .」を発表、この作品で2006年トヨタコレオグラフィーアワード「次代を担う振付家賞」を受賞。また、ダンサーとして、2004-2005年ユーリ・ン振付

「悪魔の物語」、2005年伊藤キム振付「禁色」に出演。2006年、カンパニー「AbsT」を立ち上げ、2007年「しはに -subsoil」、5人の音楽家との共作「THECO- ザコ」を発表。第1回日本ダンスフォーラム賞を受賞。2006年から現代音楽の「アルデッティ弦楽四重奏団」とのコラボレーション作品「アパートメントハウス1776/ジョン・ケージ」に参加し、国内10ヶ所で巡演している。また、2007年にはYCAMでの滞在制作によって発表した、10人のアーティストによる共作「true/本当のこと」(YCAM初演)に参加、ヨーロッパやブラジルをはじめ国内外で上演を続けている。2009年「blue Lion」、2010年「静物画 -still life」を京都で創作初演、好評を得ている。同年8月には、YCAMにて音響と身体表現をテーマにしたワークショップ「surround garden」の講師を務めた。

